

令和 2 年度 東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート

【基本目標 1】 子どもがスポーツを楽しむことができる

達成指標	放課後や休日に、運動部やスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする児童・生徒の増加	策定時（H29）	小学 5 年男子 81.1%	現状値（R 1） ※R 1.12 月公表 ※R 2 はコロナの影響で調査未実施	小学 5 年男子 77.0% （△4.1%）
			小学 5 年女子 76.5%		小学 5 年女子 78.5% （ 2.0%）
			中学 2 年男子 69.4%		中学 2 年男子 67.3% （△2.1%）
			中学 2 年女子 48.4%		中学 2 年女子 50.8% （ 2.4%）

※ 達成指標は基本目標の明確化を図るために設定し、スポーツ庁が毎年実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」から抽出している。数値は、達成指標において「よくある・時々ある児童・生徒の割合」の合計値。

■施策毎の取組の進捗状況及び今後の予定

施策		主な取組	今年度の取組内容	今後の予定（方向性）	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
1 -①	遊びを通したスポーツ習慣づくり	小学生対象のニュースポーツ体験教室の開催	R2 はコロナの影響で中止。財団主催の学童等を対象としたニュースポーツ普及事業や東海村ニュースポーツクラブによる小学校での体験教室が中止。※参考資料①	小学校や地域のイベント等における体験教室開催の支援を継続していく。	検討	実施	継続	継続	継続
		未就学児を対象とした「アクティブ・チャイルド・プログラム」の実施	R2 はコロナの影響で中止。 【参考】R1 は石神幼稚園で茨城大学と連携した運動遊び（ACP 同様）の実践及びプログラム研究を実施。	他の幼稚園等でも石神幼稚園の活動を実践していく。	一部実施	継続	継続	継続	継続
		子ども向け運動プログラムの普及を目的とした保護者・幼稚園教諭・保育士等を対象とする講習会等の開催	R2 は取組なし（隔年実施）。	R3 開催予定（村スポーツ少年団本部等主催でスポーツ少年団、幼稚園・保育所関係者、スポーツ推進委員等を対象とした研修会）。村独自の講習会開催についても検討する。	—	実施	継続	継続	継続
1 -②	親子でのスポーツ機会の充実	親子参加型の各種スポーツ教室の開催	R2 はコロナの影響で中止。財団主催のチャレンジスクール（ホッケー教室）において、全 4 回のうち初回のみ親子参加可としていたが中止。	R3 開催予定のスポフェス及びチャレンジスクール（ホッケー教室）で、親子参加のメニューを実施予定。	—	実施	継続	継続	継続
		総合体育大会等における親子参加種目の新設	R2 は取組なし。 【参考】スマイルマラソン中止により家族の部中止。	R3 開催予定のスポフェスで、親子参加のメニューを実施予定。	—	実施	継続	継続	継続
		親子スポーツ day の検討	親子での参加が可能な「とうかいスポーツフェスティバル」を企画した。	R3 開催予定のスポフェスで、親子参加のメニューを実施予定。	—	一部実施	継続	継続	継続
1 -③	学校におけるスポーツ活動への支援	「いばらきスクールサポート事業」等の外部講師の活用	年度当初に茨城県水戸生涯学習センターが「いばらきスクールサポート事業」の案内パンフレットを小中学校に配付。	校長会等で事業の活用方法等を周知し、利用の促進を図る。	継続	継続	継続	継続	継続
		「地域スポーツ指導者学校派遣事業」の拡充	R2 第 1 期(4-8 月)・第 2 期(9-12 月)実績（5 種目,166 回,301 人） 【参考】R1 実績（5 種目,201 回,356 人）	学校のニーズに合わせ、派遣可能な運動部活動の種目や派遣人数の拡充を検討する。	実施	継続	継続	継続	継続
		トップアスリート等による出前授業、運動部活動技術指導の実施	水戸ホーリーホックによる体験授業（9 回）。 【関連】指導室で運動部活動指導員を導入（東海中：R1～）。	県内プロチーム等と連携し、トップアスリートによるサッカー（水戸ホーリーホック）、バスケ（茨城ロボッツ）、野球（茨城アストロプラネッツ）等のスポーツ教室を開催する。	一部実施	継続	継続	継続	継続
		スポーツ関係団体との連携による運動部活動のない種目への活動支援	村内部活動の現状を把握。※参考資料②	活動支援の必要性和手法について協議を開始する。	—	—	検討	検討	実施予定

令和 2 年度 東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート

【基本目標 2】 多くの人がスポーツに親しむことができる

達成指標	①余暇時間におけるスポーツ実施率の <u>増加</u> ②きっかけがないためにスポーツを行っていない人の <u>減少</u> ③スポーツボランティア経験者・希望者の <u>増加</u>	現状値 (H29)	① 13.8% ② 29.7% ③ 17.7%
------	--	--------------	-------------------------------

※ 達成指標は基本目標の明確化を図るために設定したもので、現状値は平成 2 9 年度の東海村スポーツ推進計画策定時に実施したアンケート調査の結果によるもの。次は次期計画策定時（2022 年度）に測定。

■施策毎の取組の進捗状況及び今後の予定

施策		主な取組	今年度の取組内容	今後の予定（方向性）	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
2-①	誰でもスポーツを 楽しめるきっかけ づくり	総合体育大会の開催日に合わせたニュース スポーツ教室の開催	財団と協議し、「とうかいスポーツフェスティ バル」を企画した。実施時期は R3.9 月を 予定。	イベント開催（R3）に向けて関係機関と引 き続き協議していく。	—	—	検討	<u>実施予定</u>	継続
		妊婦，子育て中の母親，高齢者，障がい者 等を対象としたスポーツ教室の開催	高齢者を対象としたスポーツ教室（いきい き体操教室(高齢福祉課)/介護予防健康体操 (社会福祉協議会)) の開催。障がい者向け のスポーツ体験の場づくりについて協議。	財団，スポーツ推進委員，障がい福祉課と も連携し，インクルーシブスポーツ教室や とうかい子どもキャンパス事業での事業展 開も検討していく。	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続	継続
		阿漕ヶ浦公園やコミセンを会場とした定期 的なスポーツイベントの実施	R2 はコロナの影響で中止。阿漕でのホッ ケークリニック（財団主催）やコミセンで のニュースポーツ教室が中止。	財団や体育協会等と協議し，阿漕ヶ浦公園 を活用した定期的な屋外スポーツ教室の事 業展開を検討する。	—	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続
		スポーツ施設へのインストラクター等の配 置	総合体育館トレーニングルームでトレー ニング基礎講座を開催。コロナの影響で全 6 回のうち 2 回のみ実施。	常駐インストラクターの配置ではなく，利 用者ニーズを踏まえながら適宜講座を開催 する。	検討	検討	<u>一部実施</u>	継続	継続
		プロスポーツ応援観戦ツアー等の開催	水戸ホーリーホックでホームタウン DAY （優待チケットで観戦可）を実施。	県内プロスポーツチームの応援ツアーの紹 介や情報提供の手法を検討する。	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続	継続
2-②	多様なスポーツ人 材の育成・確保	実技指導者の指導力向上研修会等の開催	R2 は開催中止。例年であれば村体育協会 主催により，体育協会加盟団体，スポーツ 少年団等を対象に指導者講習会を開催。	大塚製菓と締結した包括連携協定を活用 し，スポーツ分野で専門的知見を有する大 塚製菓と連携した講習会を開催する。	<u>実施</u>	継続	継続	継続	継続
		「レクリエーションインストラクター」養 成制度の創設	既存制度の情報収集。	県等で実施している指導員養成制度を活用 （情報提供等）し，村内の指導者を増やし ていく。	—	—	検討	検討	<u>実施予定</u>
		2019 年茨城国体を契機としたスポーツボラ ンティア登録制度の新設	R2 は取組なし（スマイルマラソン中止）。 【参考】昨年度のスマイルマラソンで運営 ボランティア公募（6 名参加）。	運営ボランティアの実績をベースに，スポ フェス等のスポーツイベントにおいてボラ ンティアの活用を積極的に行う。	—	<u>実施</u>	継続	継続	継続
		スポーツ大会出場助成金制度等の活用促進	R1 に助成方法を個別対応からエリア支給 に変更し R2 も継続運用。村 H P で周知。	制度の周知を図り，奨励金の活用を促進さ せる。	検討	<u>実施</u>	継続	継続	継続
2-③	スポーツ活動団体 への支援	「スポーツ少年団体体験教室（スポ少フェ ス）」の開催	財団主催でチャレンジスクールを開催（剣 道・19 名）。5 種目（ホッケー/卓球/合気道/府 吹矢/ソフトボール）はコロナ禍で中止。	チャレンジスクールの継続実施のほか，R3 から実施予定のスポフェスでの事業展開 （スポ少ブース設置等）も検討する。	—	—	<u>一部実施</u>	継続	継続
		スポーツ関係団体を対象としたスポーツ施 設等の事前予約制度の拡充	R2 は取組なし。阿漕ヶ浦公園（野球場/ホ ッケー場）やテニスコートでもスポ少等を対象 に事前予約を実施済。	スポ少等の学校開放優先枠の検討や財団等 の事業における阿漕ヶ浦公園事前予約の活 用を図る。	—	—	—	検討	<u>実施予定</u>
		競技レベル・年代に応じたスポーツ活動団 体育成の仕組みづくりの検討	R2 は取組なし。スマイル TOKAI での陸上 アスリートクラス（H29～）や競技エアロ ビクスを継続実施。	活動者のニーズの把握に努め，スマイル TOKAI 等と連携しながら新たなメニューを 展開，新規団体発足の支援を行う。	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続	継続

## 令和２年度 東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート

### 【基本目標３】 まちづくりにつながるスポーツ環境の基盤をつくる

達成指標	スポーツに関心がある人の増加	現状値 (H29)	75.7%
------	----------------	--------------	-------

※ 達成指標は基本目標の明確化を図るために設定したもので、現状値は平成２９年度の東海村スポーツ推進計画策定時に実施したアンケート調査の結果によるもので、数値は達成指標において「大いに関心がある・ある程度関心がある人の割合」の合計値。次は次期計画策定時（2022 年度）に測定。

#### ■施策毎の取組の進捗状況及び今後の予定

施策		主な取組	今年度の取組内容	今後の予定（方向性）	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
3-①	いつでもスポーツ ができる施設環境 の整備	少年野球の利用を見据えた久慈川河川敷フットボール場の改修	H30 に改修済み。	適正かつ効率的な維持管理を行う。	<u>実施</u>	運用	運用	運用	運用
		村内事業所所有のスポーツ施設の活用に向けた協議・検討	県立東海高校体育施設の活用を検討。 【参考】村内事業所のスポーツ施設数、利用条件等は調査済み（H29）。	利用条件の緩和や積極的な施設開放に向けて、スポーツ施設を有する関係機関（東海高校や民間施設等）と引き続き協議する。	—	—	<u>実施</u>	継続	継続
		久慈川河川敷ニュースポーツ広場の整備	R 2 は取組なし。 【参考】２団体(グランドゴルフ)から利用希望あったため、広場の状況を再確認。	近年の気象(災害)状況を考慮しながら、利用ニーズを踏まえた整備内容を検討する。	—	—	検討	検討	<u>実施予定</u>
		阿漕ヶ浦公園スポーツ関連施設及び新たなスポーツ施設の整備の検討	都市公園である阿漕ヶ浦公園（野球場・ホッケー場）のスポーツ施設としての活用について関係機関と協議した。	芝生広場も含めた阿漕ヶ浦公園のスポーツ施設としての活用について、関係機関と引き続き協議する。	—	—	<u>実施</u>	継続	継続
3-②	スポーツ関連情報の 収集・発信	スポーツ情報ポータルサイトの構築	R1 に運用開始した「東海村運動・スポーツ総合情報ページ」の情報を適宜更新。	適宜、情報の更新、コンテンツの内容の見直しを行う。	—	<u>実施</u>	継続	継続	継続
		「スポーツレポーター」制度の導入	R2 は取組なし。	財団が主体となり、スポーツ団体等からの大会情報等の収集及び発信（広報誌・HP 等）する方法を検討する。	—	—	—	検討	<u>実施予定</u>
		スポーツ年間行事カレンダー等の発行	情報提供すべきイベント等の内容を整理した。	財団が主体となり、スポーツ団体等からの情報収集の仕組みや情報発信の手法を検討する。	検討	検討	検討	検討	<u>実施予定</u>
3-③	スポーツを通した 多様な連携による まちづくりの展開	庁内の健康増進・子育て・観光セクションと連携した事業の実施	健康増進課と連携したトレーニング講座の実施。※スマイル TOKAI 受託事業	スポフェスにおける多様な事業連携について、関係機関と協議する。	<u>実施</u>	継続	継続	継続	継続
		東海まつり、環境フェス等のイベントでのスポーツ体験教室の実施	R2 はコロナの影響で中止。例年は東海まつりでニュースポーツ体験ブースの設置や財団主催による「スポーツクライミング」の体験会を開催。	より多くのイベントでスポーツ体験教室を実施する。	<u>実施</u>	継続	継続	継続	継続
		高齢福祉と連携したレクリエーション教室の開催	高齢者も参加が可能な「とうかいスポーツフェスティバル」を企画した。	スポフェスにおける多様な連携事業について、関係機関と協議する。	—	—	検討	<u>実施予定</u>	継続
		障がい福祉と連携した障がい者と健常者の合同スポーツイベントの実施	障がい者とのスポーツ体験の場づくりに向けて、障がい福祉課と協議した。 【参考】障がい福祉課主催の「障がい理解促進シンポジウム」に参加。	財団、スポーツ推進委員、障がい福祉課とも連携し、障がい者向けのスポーツ体験の場づくりに向けた取組みを進める。	—	—	検討	<u>実施予定</u>	継続
		「“スポーツのまち”東海村」を目指した機運の醸成	各種取組の推進。10 月に総合体育大会 50 回目を記念した式典を開催。元プロサッカー選手（宮澤ミシェル氏）による講演等。	村外者も含めたスポーツ大会の開催等により，“スポーツのまち”としてのイメージアップを進める。スポフェスを軸に連携の幅を広げ、まちの活性化につなげる。	<u>実施</u>	<u>実施</u>	<u>実施</u>	<u>実施</u>	<u>実施</u>